

鬼石中だより



自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校
令和7年度学校だより 第2号
令和7年5月26日
文責:校長 五十嵐

* 1年生榛名高原学校 5/22~23 *

5月22日(木)、23日(金)の2日間、1年生が榛名高原学校に行ってきました。

当日は天候が心配されましたが、予定されていた日程を予定通り実施することができました。慣れない場所で、また、自然保護のために生活に様々な制限がある中、状況を踏まえながら、何をすべきかよく考え、適切に判断し、気持ちよく生活する練習をする2日間でした。家の生活と比べると不便なこともありましたが、そういう状況を自分たちの工夫やお互いの協力で乗り越えたことが、忘れられない思い出となり、一生語り合える貴重な体験になったことだと思います。

高原学校中にあったチョットいい話を一つ。高原学校に行く途中で立ち寄った榛名神社では、一般の参拝者もたくさんいましたが、生徒たちはそれ違う人、一人一人に気持ちの良い挨拶がしっかりでき、感心しました。ある参拝者はそんな生徒たちの姿を見て、本校職員に「(生徒たちが)良い挨拶をしていますね。すばらしい!」とお褒めの言葉をかけてくださいました。生徒会本部が掲げる「誇りある鬼石中の創造」を体現している子どもたちの姿を、校長として大変誇らしく思いました。

ということで、生徒たちは、2日間、楽しく、そして適切に行動できました。そして、事故やトラブルなく、全員無事に笑顔で学校に帰って来ることができました。学びの多い、大変貴重な経験となりました。



* 4月、5月の朝礼より *

今年度も、月ごとの朝礼や集会で校長として生徒に発信する際は、内容の意識化を図るために、発信の趣旨を「10文字（「自立の五行日常の五心」「力強く育つ麦のように」）」のタイトルで示し、覚えやすくします。

「自立の五行日常の五心」（4月朝礼校長の話より）

鬼石連携型小中一貫校の学校教育目標は、「地域や自他を大切にし、社会に貢献できる自立した児童生徒の育成」で、一言で言うと「自立・貢献（できる生徒の育成）」となります。自立・貢献できるということを、私なりに解釈すると以下のようになります。

自立 → 自分のことは自分で考え、自分でできるようにしていく

貢献 → 人のことを思い、人と協力し、人のために行動できる

この解釈を踏まえ、今年度は、自立・貢献できる生徒育成するために以下の2つを鬼中生の行動指針とし、生徒のみなさんがこれらを身に付けることを徹底したいと思います。

①「自立の五行」（今年度からスタート）

- | | |
|----------------|------------------------|
| 一 まず考え、そして行動 | → よい判断ができるようになるために |
| 二 興味を持って | → 挑戦していく気持ちはここから |
| 三 クイックリアクション | → よいと思ったらすぐ取りかかるクセをつける |
| 四 やると決めたら頑張り抜く | → 強い気持ちで粘り強く続けていくことが大切 |
| 五 人任せにしない | → 自分でやる喜びや、充実感をしっかり味わう |

②「日常の五心」（昨年度から継続）

- | |
|------------------|
| 一 はい という素直な心 |
| 二 すみません という反省の心 |
| 三 おかげさまで という謙虚な心 |
| 四 私がします という奉仕の心 |
| 五 ありがとう という感謝の心 |

※大人は、子どもたちの生き方のモデルでなければなりません。だから、我々教師が率先して「自立の五行」「日常の五心」を実践します。保護者・地域の皆様も、ご協力をよろしくお願いします。

「力強く育つ麦のように」（5月朝礼校長の話より）

麦踏みというのがあります。芽の出た麦を足で踏んでいくのです。昔は私の自宅のまわりも麦畑が広がっていて、農家の方々が北風に吹かれながら、長い時間をかけて畑で麦踏みをしているのを見たことを思い出します。今は、ローラーを転がせばあっという間にできてしまうので、このような光景はもう見られませんが…。

ところで、その麦踏みを見ながら子ども心に思っていたことがあります。せっかく出た芽をなぜあのように足で踏んでいくのだろうか。最初は芽がだめになってしまうのではないかと思っていました。実は同じような疑問を教師になりたての頃にも思ったのです。生徒たちは勉強（3年生になれば受験でしょうか）という大きなローラーに踏まれ、芽が折れるように、性格や人柄が変わってしまうのではないかと思ったときもありました。

しかし、この麦踏みには、実はもっと深い意味があったのです。麦踏みによって将来、穂がついたときに腰が強くなってしまうのです。事実、各ふしが太くなります。また麦踏みによって倒れているときに根が成長し、より深くなり、安定するのです。私は人間にも同じ事が言えるのではないかと思うのです。心身ともに成長するこの中学生の時期に、単に上にのみ伸びるだけでは、いろいろな抵抗にこらえることができなくなるのです。挫折や困難も、実は成長につながる大切な経験なのです。人間は辛さや苦しさを乗り越えることで命の根を深くし、精神力を身に付けることができるのです。ですから、これから長い人生を考えると、達成感や充実感を味わうことと同じくらい、辛さや挫折感を味わい、それを乗り越える経験を積ませることも、子供たちの成長にとって大切な機会となるのです。鬼石中生には、踏まれて二倍も三倍も力強く育つ麦のような人間になってほしいと思っています。